

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	心理学概論A (Introduction to Psychology A)		
ナンバリングコード	E21506	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	選択・教職 教職関係科目(選択必修): 高等学校教諭一種免許状(公民) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	EK01101	クラス名	-
担当教員名	麻生 良太		
履修上の注意、 履修条件	遅刻, 講義中のスマートフォン・携帯電話の使用, おしゃべり, 居眠り等の行為は禁止です。		
教科書	あなたのこころを科学する ver3 古城和敬他 編著 北大路書房		
参考文献及び指定図書	発達と老いの心理学 藤田 文 編著 サイエンス社		
関連科目	心理学概論B		

○基本情報		
授業の目的	心理学的な知識は、人が日頃から意識せずに行っている行動の背景に、どのように心と周りの環境が関わっているかを教えてください。また、教員としての実践的なことを学ぶ時の手助けとなる知識を身につけることができます。この授業では、特に知覚、感情・動機、記憶、発達、性格・知能について学びながら、人間理解と教育の基礎的な知識を身につけることを目的としています。	
授業の概要	授業は基本的に講義形式ですが、心理学を身近に感じ、そのおもしろさを実感してもらうため。一部で演習形式の基礎実験的な内容も取り入れたり、実際の子どものDVD等を鑑賞してもらいます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①教職を目指すものとして心理学が教職にどのようなつながりがあるのか理解できる。	10点		5点
【知識・理解】	②人間行動の背景にある基本的理論を説明できる。 ③ライフサイクルと人間の発達における重要なトピックについて理解できる。	40点		5点
【技能・表現・コミュニケーション】	④知識を応用した演習に積極的に参加し、理解を深めることができる。	20点		5点
【思考・判断・創造】	⑤様々な心理学の知識を関連づけ、日常生活の人間行動について考えることができる。	10点		5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
集中講義になりますので、各日の最後にその日に学んだことおよび質問を書く、リアクションペーパーを課します。このリアクションペーパーも評価の対象になります。 期末試験も行いますので、期末試験の点数とリアクションペーパーの点数で評価をつけます。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	心理学概論A (Introduction to Psychology A) 麻生 良太	授業コード	EK01101
学修内容				
1. 感覚 感覚とはなにか、感覚の種類や感覚が生起されるまで過程について考えていきます。				
予習	テキストp10～p16を熟読し、ノートを作成する。			約2時間
復習	感覚の種類や、感覚が生起するまでの過程についてまとめる。			約2時間
2. 知覚 感覚と知覚の違い、知覚の働きを通して成立している世界について考えていきます。				
予習	テキストp16～p27を熟読し、ノートを作成する。			約2時間
復習	感覚と知覚の違いについてまとめ、知覚の働きによって世界がどのように見えるのかについてまとめる。			約2時間
3. 動機 動機づけの過程や、動機づけの種類について考えていきます。また、欲求不満の種類についても考えていきます。				
予習	テキストp30～p42を熟読し、ノートにまとめる。			約2時間
復習	動機づけの過程を具体的な例をあげてまとめる。欲求不満の種類についても、具体例をあげて整理する。			約2時間
4. 感情 感情にはどのような種類があるのか、感情が生起するための理論はなにかについて考えていきます。				
予習	テキストのp43～p51を熟読し、ノートにまとめる。			約2時間
復習	感情の種類についてまとめる。感情の理論について、生理的な側面と認知的な側面についてまとめる。			約2時間
5. 記憶 記憶の過程、記憶の種類、スキーマや忘却について考えていきます。				
予習	テキストのp60～p66を熟読し、ノートにまとめる。			約2時間
復習	記憶の過程をまとめる。スキーマが記憶に対して果たす役割についてまとめる。			約2時間
6. 思考 様々な思考の仕方について、実際にその思考方法を使って問題解決学習を行う。				
予習	テキストのp67～p70を熟読し、ノートにまとめる。			約2時間
復習	思考の種類をまとめ、問題解決を促進するための要因についてまとめる。			約2時間
7. 胎生期 胎児の特徴や胎内環境について学び、胎児の様子や胎児期の発達について学んでいきます。				
予習	テキストのp72～p73を熟読し、ノートにまとめる。			約2時間
復習	胎生期の特徴についてまとめる。			約2時間
8. 新生児期・乳児期 新生児期・乳児期の運動発達や養育者との相互作用について学んでいきます。				
予習	テキストのp72～p78を熟読し、ノートにまとめる。			約2時間
復習	原始反射、言語の発達、基本的信感について要点を整理し、まとめる。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	心理学概論A (Introduction to Psychology A) 麻生 良太	授業コード EK01101
学修内容			
9. 幼児期(社会性の発達, 認知発達) 幼児期の特に社会性, 認知の発達について, 愛着理論, 自己中心性の観点から考えていきます。			
予習	テキストのp78～p80を熟読し, ノートにまとめる。		約2時間
復習	愛着の発達についてまとめる。乳児期と幼児期の認知の違いについてまとめる。		約2時間
10. 幼児期(言語の発達, 自己の発達) 幼児期の特に言語, 自己の発達について, 話し言葉と書き言葉, 自己抑制の観点から考えていきます。			
予習	事前に配布する補足資料を熟読し, ノートにまとめる。		約2時間
復習	話し言葉と書き言葉の違いについてまとめる。自己主張と自己抑制の役割についてまとめる。		約2時間
11. 児童期 社会性の発達, 認知の発達について, ギャングエイジ, 脱中心化の観点から考えていきます。			
予習	テキストのp80～p81を熟読し, ノートにまとめる。		約2時間
復習	児童期の仲間関係についてまとめる。幼児期と児童期の認知の違いについてまとめる。		約2時間
12. 青年期(身体の発達) 思春期の身体の発達について学び, 身体と心がどのように関連しているのかを考えていきます。			
予習	テキストのp81～p82を熟読し, ノートにまとめる。		約2時間
復習	思春期の身体の発達について, 自分の体験をふまえてまとめる。		約2時間
13. 青年期(アイデンティティの確立) 青年期の発達課題であるアイデンティティの確立について, エリクソンの発達理論に基づき考えていきます。			
予習	テキストのp82～p84を熟読し, ノートにまとめる。		約2時間
復習	アイデンティティの確立に必要な対の概念についてまとめる。		約2時間
14. 中年期 中年期の危機, アイデンティティの再体制化, キャリアについて考えていきます。			
予習	テキストのp85～p86を熟読し, ノートにまとめる。		約2時間
復習	中年期の危機について, 構造化してまとめる。キャリアについて, 自分の今後を考えながらまとめる。		約2時間
15. 高年期 高年期の問題としてのエイジズム, 発達し続ける知能, 知恵について考えていきます。			
予習	テキストのp86～p89を熟読し, ノートにまとめる。		約2時間
復習	エイジズムの問題点とその解決方法についてまとめる。高年期の知能をどう活用するかについてまとめる。		約2時間
16. 期末試験 これまでの内容について選択式の試験を実施します。自筆ノートおよび講義内に配布したプリントは持ち込み可とし, 試験時間は60分です。			
予習			約2時間
復習			約2時間